

知の力で、善く生きるために大切なこと 4 か条

1. すべての土台は自己であり、それを更新し続けることこそが学びである

時代は変化し続けます。その変転のなかで、変わるべきところ、変わらざるべきところを見極めて、あなたの人格を更新し続けていくためにこそ、学びはあります。

2. 知識の獲得は誠実に行う

各科目は、体系立てて、構造的に正しく理解することが大切です。つまみ食いした知識では「知識に使われる」だけの結果になります。知識を使うために、その背後にどのような論理や思想があるのか、その知識はいかなるときにどう用いられるべきなのかを、考えながら学んでください。

3. 知識は現実で生かす

知の活用実践に繋げるためには、総合が大切です。「知っている」と「実践している／できる」の間には大きな隔たりがあります。その間を繋ぐためには、知識を総合して使うことが肝心です。現実の問題は常に複合問題です。学びを、自己の器のうえで総合的に用いることが、実践に繋げる鍵です。

4. 知に生きる鍵は、持続可能であること

生涯学習の時代に大切になるのは、「頑張り過ぎず、継続すること」です。私達の人生は、我慢して歩み続けていけるほど、短く楽な道ではありません。しかし、歩みを止めるわけにもいきません。ぜひ、自分のペースを見つけてください。仕事やプライベートが大切な時期には、どうか適宜バランスを取ってください。

APS の学習活動 メインプログラム

APS の学習活動は科目講義とグループ・プロジェクト、研究論文からなります。

いずれのサービスもウェブサイトのメンバーページからアクセスができます。

メンバーページは以下です。トップページからも移動できます。
<https://www.aps-academic-power-to-people.com/member-s-portal>

1. 科目講義

1 科目 2 か月、8 回のオンデマンド講義と 4 回のライブ講義で構成される、経営学の各種領域の基本理論を学んでいくプログラムです。各領域の国内トップ研究者が皆さんに理論の背景から現場への実践までを手ほどきします。最終課題を提出することで単位認定（1 単位）となります。

2. グループ・プロジェクト

6 か月間、仲間たちと一緒に、自分の興味関心に沿って取り組んでいくグループプロジェクトです。参加は任意です。隔週開催となる「中川ゼミ」のなかで活動の指導・支援をしてまいります。自発的なミーティングと、何よりも実践こそが鍵となります。グループメンバー連盟での最終報告を提出して単位認定（1 単位）となります。

3. 研究論文

10 単位以上を取得された方がチャレンジ可能となります。現役の研究者の指導を受けながら、あなたの考えを論文としてまとめ、発表します。自分の学びを集大成するつもりで、ぜひ挑戦してみてください。

生涯学習、日々成長を理念としている APS ですが、科目学習の節目として、15 単位+研究論文の執筆で、当校認定の経営マスターの証書と記念品を送らせて頂きます。15 単位で経営学の必須事項を一通り学び終える量となります。およそ 2 年で取得できます。

その先にもシルバー（30 単位到達+研究論文）、ゴールド（50 単位到達+研究論文）と次なる目標も設定しておりますので、どんどんと学びを深めてもらえれば嬉しいです。

経営マスター、シルバー、ゴールドの各認定を取られた方には、学費の割引と、オンラインキャンパスへの生涯参加権（無料）も付与されます。

APS その他の教育サービス

・オンラインキャンパス

受講者間の交流は Slack によるオンラインキャンパスを活用ください。こちらメンバーページからアクセスが可能です (Slack やブックマークから直接アクセスも可能です)。ビジネス上のやりとりも推奨いたします (マルチ、宗教勧誘は禁止です)。キャンパス空間から新しいことが生まれてくることを願っています。

・中川ゼミ

ライブ講義とはまた別に (ライブ講義のない週に) 隔週 2 時間で、ライブによる交流型学習の場として「中川ゼミ」を開講します。前半 1 時間は、受講者さんの現場の課題や悩みなどを皆で支援してゆく場とします。後半 1 時間は、グループプロジェクトの指導・支援にあてたいと思います。前半のみ、後半のみの参加も可能です。

・アーカイブ配信

オンデマンド講義のみならず、すべてのライブ講義と中川ゼミのアーカイブを、いつでもご覧いただくことができます。なお、ご自身が関係されている回について、配信停止を希望されたり、一部カットを希望される場合は事前・事後問わず、お気軽に連絡ください。

ご相談・ご質問はお気軽に APS_staff[at]aps-academic-power-to-people.com までお寄せください。(※ [at] を @マークに変更してください)